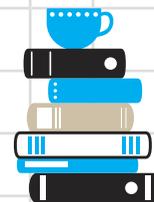


令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センターミヤベ岩国



○事業所名	COMPASS発達支援センターミヤベ岩国			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	児童発達支援管理責任者を対象とした研修を毎月1回、専門職を対象とした研修を毎月1回実施し、また社内研修動画を活用することで、サービスの質の向上を目指しております。	職員間での周知や確認を重視し、打ち合わせの時間を確保することで、共通認識を持てるよう努めております。	情報共有の時間は重要であると考えており、今後も継続して確保できるよう努めてまいります。
3	事業所は、児童が活動しやすい環境となるよう設計・建設されております。	各発達支援室は年齢や特性に応じて活用し、運動療育が行いやすいよう専用の部屋を設け、安全に配慮した支援を提供しております。	児童の特性に応じ、視覚的にわかりやすい工夫を取り入れ、自発的に行動しやすい環境づくりに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所からの期間が短いため、療育のサービスの質向上や運営に関する知識を高めていくことが必要であると考えております。	従業員の定着が進んでおらず、療育に関する知識が豊富な職員の育成が十分にできていないと感じております。	法人としては十分な研修体制を整えておりますので、今後は時間をかけて経験を積み、療育や法令に関する職員の知識を高められるよう努めてまいります。
2	放課後児童クラブや児童館など、地域の子どもの交流機会が少ないと感じています。	長期休暇中などは事業所内でイベントを実施していますが個人情報や安全面を考慮し、現在は事業所外での活動は実施していません。	個人情報や安全面を配慮しつつ、地域の児童クラブや他事業所などと交流の機会を検討してまいります。
3	送迎など保護者様のご希望にすべて添えることが難しくなっております。	現在、契約の空きはあるのですが、送迎希望が多く、新たに学校等への送迎が難しいのが現状です。	送迎ルートの再編成、学校や保護者様のご協力も必要となりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



公表日：令和8年2月18日